



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社 AMBITION 上場取引所 東
 コード番号 3300 URL http://www.am-bition.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 久保田 勝 TEL 03-6439-8905
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	2,766	29.5	△90	—	△95	—	△57	—
28年6月期第1四半期	2,137	40.1	56	—	54	—	18	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 △62百万円 (-%) 28年6月期第1四半期 16百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△19.14	—
28年6月期第1四半期	6.19	—

(注) 平成28年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	3,040	677	21.7	218.18
28年6月期	3,286	747	22.7	247.48

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 658百万円 28年6月期 747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,091	55.3	△26	—	△40	—	△24	—	△7.94
通期	13,305	50.2	230	15.0	202	8.6	121	8.0	40.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ADAM、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期1Q	3,065,000株	28年6月期	3,065,000株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	45,000株	28年6月期	45,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期1Q	3,020,000株	28年6月期1Q	3,020,000株

※平成28年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、平成28年6月期1Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	4
(1) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費におきましては、為替の変動や海外経済の下振れリスクが懸念される等、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産管理業界におきましては、地価上昇及び低金利政策を背景にした個人投資家等の不動産保有ニーズは依然として高く推移しており、当該保有資産の資産維持及び向上を目的としたサブリースの需要も高まりつつあります。また、不動産仲介業界においても、依然として一般消費者の消費マインドは節約志向が根強いものの、企業の人事異動に伴う転居ニーズ等があり、需要状況は改善しつつあります。

このような市場環境の中、当社グループはコア事業であるプロパティマネジメント事業における管理戸数の増加を軸に、入居率の向上の維持を支える賃貸仲介事業との連携及び中古不動産市場の活況を背景に、中古マンション再販事業を展開することで収益拡大を図ってまいりましたが、繁忙期（新入学・就職時期）に向け、管理戸数を確保したことによる売上原価の増加、その管理人員の増加及び将来に向けた管理システム投資による販売費及び一般管理費が増加しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,766,730千円（前年同期比29.5%増）、営業損失は90,423千円（前年同期は、56,547千円の営業利益）、経常損失は95,127千円（前年同期は、54,648千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は57,788千円（前年同期は、18,708千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の事業状況につきましては、以下のとおりです。

（プロパティマネジメント事業）

プロパティマネジメント事業は、主に住居用不動産の賃貸借（サブリース）を行っております。当該事業については、管理物件数の増大及び高入居率の維持を基本方針として事業展開いたしました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、管理戸数については7,492戸（前年同期末比2,287戸増）となり、入居率は90.1%となりました。

その結果、売上高は2,136,285千円（前年同期比34.8%増）、セグメント利益（営業利益）は49,713千円（前年同期比37.5%減）となりました。

（賃貸仲介事業）

賃貸仲介事業は、都内12拠点及び神奈川県5拠点の計17拠点を運営し、賃貸物件の仲介事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、企業の人事異動等による一般消費者の賃貸住居の仲介ニーズを捉えた営業活動を行いました。東京圏内における競争環境は激化しております。

その結果、売上高は199,068千円（前年同期比2.5%減）、セグメント損失（営業損失）は16,931千円（前年同期は、20,674千円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（インベスト事業）

インベスト事業は、住居用不動産物件の売買及び一般顧客の不動産物件の売買仲介を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、13件の物件売却を行いました。

その結果、売上高は467,661千円（前年同期比23.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,039千円（前年同期比98.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,040,168千円となり、前連結会計年度末に比べ245,835千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が49,425千円、その他に含まれる投資有価証券が19,193千円増加した一方、現金及び預金が320,510千円減少したことによりです。

負債合計は2,363,028千円となり、前連結会計年度末に比べ175,012千円減少いたしました。これは主に、短期借入金94,910千円、長期借入金（1年内返済予定長期借入金含む）が24,937千円、未払法人税等が55,727千円減少したことによりです。

純資産合計は677,139千円となり、前連結会計年度末に比して70,822千円減少いたしました。これは主に、非支配株主持分が17,665千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失が57,788千円となったこと及び配当金の支払30,200千円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の業績予想につきましては、平成28年8月12日付の「平成28年6月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

（1）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,547	1,184,036
営業未収入金	119,149	121,799
販売用不動産	928,875	901,301
その他	45,472	85,256
貸倒引当金	△17,092	△26,539
流動資産合計	2,580,952	2,265,855
固定資産		
有形固定資産	208,484	257,909
無形固定資産		
のれん	150,243	144,997
その他	44,221	45,931
無形固定資産合計	194,465	190,929
投資その他の資産		
その他	314,613	343,655
貸倒引当金	△17,093	△22,762
投資その他の資産合計	297,520	320,893
固定資産合計	700,469	769,732
繰延資産		
社債発行費	4,580	4,580
繰延資産合計	4,580	4,580
資産合計	3,286,003	3,040,168
負債の部		
流動負債		
営業未払金	65,594	59,991
短期借入金	486,560	391,650
1年内返済予定の長期借入金	140,244	141,104
未払法人税等	57,608	1,880
前受金	290,507	329,971
賞与引当金	1,800	21,326
その他	369,026	322,163
流動負債合計	1,411,341	1,268,087
固定負債		
社債	150,800	137,500
長期借入金	692,814	667,016
その他	283,085	290,424
固定負債合計	1,126,699	1,094,940
負債合計	2,538,041	2,363,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,820	179,820
資本剰余金	139,820	139,820
利益剰余金	427,554	341,432
自己株式	△1,155	△1,155
株主資本合計	746,040	659,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	819
為替換算調整勘定	—	△1,824
その他の包括利益累計額合計	1,361	△1,005
新株予約権	560	560
非支配株主持分	—	17,665
純資産合計	747,962	677,139
負債純資産合計	3,286,003	3,040,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,137,100	2,766,730
売上原価	1,688,908	2,360,473
売上総利益	448,192	406,257
販売費及び一般管理費	391,644	496,680
営業利益又は営業損失(△)	56,547	△90,423
営業外収益		
受取利息及び配当金	524	390
受取手数料	2,153	236
雑収入	1,649	1,906
営業外収益合計	4,326	2,533
営業外費用		
支払利息	3,979	6,425
雑損失	2,246	811
営業外費用合計	6,226	7,237
経常利益又は経常損失(△)	54,648	△95,127
特別利益		
固定資産売却益	—	85
受取補償金	—	15,000
特別利益合計	—	15,085
特別損失		
減損損失	15,215	—
固定資産売却損	—	188
損害賠償金	—	1,895
特別損失合計	15,215	2,084
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,433	△82,126
法人税、住民税及び事業税	29,578	2,409
法人税等調整額	△8,854	△24,813
法人税等合計	20,724	△22,403
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,708	△59,722
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,934
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,708	△57,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,708	△59,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,568	△542
為替換算調整勘定	—	△1,824
その他の包括利益合計	△2,568	△2,366
四半期包括利益	16,140	△62,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,140	△60,155
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,934

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	プロパティ マネジメント 事業	賃貸仲介事 業	インベスト 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,584,409	174,294	378,396	2,137,100	—	2,137,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	29,971	—	29,971	—	29,971
計	1,584,409	204,266	378,396	2,167,072	—	2,167,072
セグメント利益	79,585	20,674	51,087	151,347	—	151,347

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	151,347
全社費用(注)	△94,799
四半期連結損益計算書の営業利益	56,547

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「賃貸仲介事業」セグメントにおいて、一部店舗設備の回収可能性を判断し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,319千円であります。

また、当社は、平成27年9月30日開催の取締役会において本社移転を決議したことに伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては13,895千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他	合計
	プロパティ マネジメン ト事業	賃貸仲介事 業	インベスト 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,136,285	161,335	467,661	2,765,282	1,448	2,766,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	37,732	—	37,732	13,439	51,172
計	2,136,285	199,068	467,661	2,803,015	14,887	2,817,902
セグメント利益又は損失（△）	49,713	△16,931	1,039	33,821	1,588	35,409

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当第1四半期連結会計期間より重要性が増したため連結の範囲に含めた、AMBITION VIETNAM CO., LTDの事業を表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	33,821
「その他」の区分の利益	1,588
全社費用（注）	△125,833
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△90,423

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、子会社である(株)VALORの管理体制を見直したため、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。